



# 風っ子・環境キャンペーン

太田市

## もくもく掃除で 心も学校もピカピカに

太田市立駒形小学校



「もくもく掃除、始めるぞ〜」掃除道具を手に張り切る6年3組の児童

太田市立駒形小学校（植木野町）は、エコキャップ集め、古紙の分別、グリーンカーテン、そしてPTAと協力して実施する資源回収などいろいろな種類の環境活動をしています。ちょっと変わったものが

「もくもく掃除」と呼ばれる毎日の掃除。昼休み終了後「これから始めます」と挨拶をした後は、全校児童がおしゃべりをしないで文字通り「黙々と」掃除に励みます。

「低学年のころは、なぜ黙って掃除をするのかが分かりませんでした」と話すのは、佐古絢香さん（6年）。学年が上がるにつれ「話さない」とで、自分で気づくことや見えることが増えたと感じているそうです。そして、誰かとおしゃべりをしながら掃除をしていたら、きつと気づかない他の誰かが必要としている助けに気づくと自然に身体が動くようになりました。「学校の目標である『気付き、考え、行動する児童』に近づいている気がします」と話します。

「掃除の質も間違いなく上がります」と話すのは、生徒指導担当の滝沢翼先生。確かに15分後には、床も窓もピカピカ。きれいな環境で心まで晴れやかになります。終わったあとは、振り返り。反省を

改善につなげます。

「学校内だけでなく、通学路のごみに目が行くようになり、気づいたら自然と拾っています」と言うのは坂田葵さん（6年）。今では地域の古紙回収にも自主的に参加をしているそうです。

「もくもく掃除」をきっかけに、きれいな輪は地域にまで広がっています。



手際よくスピーディに掃除が進みます

風っ子・環境キャンペーンを応援します

### 太田市立駒形小学校

よしだ ひろゆき  
吉田広幸校長 437人  
太田市植木野町 7番地  
TEL:0276-46-9421  
http://www.ota.ed.jp/komagata/

4〜6年生が作ったもち米をで、12月には餅つき大会を実施。このもち米を使って卒業式にはお赤飯に作ります。



きれいな教室は  
気持ちもスッキリ

群馬県のマスコット  
「くんまちゃん」  
許諾第30-111002号

## 身近にできるエコ活動

エスディー・ジーズ

### SDGs という言葉を知っていますか？

最近、新聞やテレビのニュースで、「SDGs」という言葉を見ませんか？これは、英語で Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略で、2030年までに世界各国が取り組む目標です。貧困や飢餓、教育、水と衛生、エネルギー、気候変動など、17の目標達成に向けて、世界中の国や企業などが取り組んでいます。皆さんでも取り組める目標がたくさんあります。例えば、目標12の「つくる責任・つかう責任」では、ものを大切に使い、無駄なごみは出さない。ご飯を残さず食べることで食品ロスを減らすなどの取組です。皆さんが大人になる2030年には、全ての目標が達成されるよう、できることから始めましょう。

群馬県環境アドバイザー 原田邦昭